



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	杉山, 太幹; 辻野, 直三郎; 深井, 考之助 他
Citation	makoto. 1982, 37, p. 2-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86074
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



新年にあたって

大阪府衛生部長

杉山 太幹

新年あけておめでとございませう。

旧年中は、本府衛生行政に多大のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近時、府民の健康に対する認識や、その価値感は大きく変化し疾病の治療に加えて、予防や主体的な健康づくりに対する関心が高まっております。

このため府民の、保健・医療に対する需要も、乳幼児、妊産婦、老人をはじめそれぞれの、ライフ・ステージに応じて多様化しつつあり、高度医療や、救急医療体制の充実をはじめ、健康診査や、リハビリテーションなどにその関心が強まっています。

また、府民の健康に対する価値感の高まりは、自主的な健康づくりのための基盤整備への、大きな期待となっております。

本府といたしましても、これらを充分認識し、府民の健康を守り育て、府民が生涯にわたって、健康を保持増進できるように、

出生児から高齢期までの健康づくりから、疾病の予防、治療、リハビリテーションに至る、体系的な保健医療システムの、整備をめざしております。

特に、各種の疾病予防対策の推進、医療供給体制や救急医療体制の整備、昨年十月に、周産期医療部門を開設しました、母子保健総合医療センターの整備などによる、母子保健医療対策の充実、地域における健康づくり事業の促進、また、これら保健医療に、必要不可欠な保健医療技術者の養成、確保対策の推進等の諸施策を実施し、その実

現に努力しております。これらを、達成するためには、本府の努力は言うまでもなく、皆様方の、ご理解とご協力により、はじめてその実現ができるものであります。

つきましては、本府衛生行政の推進に、今後ともより一層のご支援、ご協力を切に、お願いいたしたく存じます。

おわりに、貴協会のますますの、ご活躍、ご発展を心から、お祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

なる。

〇二十一世紀の繁栄へ
豊臣秀吉の桃山時代が天正十八年（一五九〇）に完成したとすれば、三九一年約四〇〇年を経過したことになる。この四世紀経過の今年を浪速の活力と繁栄を期するため府民挙って大々的「大阪国際都市祭り（仮称）を行うべきではあるまいか、

敢て府民各位に提唱する、乞う御賛同あらんことを。多謝

の桜門、二の丸、乾櫓（いぬいやぐら）この乾櫓は重要文化財であり、その手法は最も古い築城とされている。しかし豊臣秀吉以前の昔をたどってみると一〇五代後奈良天皇が本願寺証如上人が山城（山科）から石山（現在の馬場町）に本願寺本山としてここに置き城郭を構えた。この由緒から「大阪城」の呼称が生まれたものである。当時の面積は八町四方（一町は一〇九m）に及び雄大無双の称があった。後第十一世願如の時に至って（室町時代一五八〇年天正八年）織田信長の治めるところと

謹賀新年

財団法人大阪防疫協会

理事長

辻野 直三郎

大阪府市町村の皆さん方の益々御多幸であらせらるることを御祈り申し上げます。さて私は五十年四月に本紙第十号の別冊として「なにわ文芸と国立劇場」と題しまして、大阪の興隆のために二十一世紀の施策のさきがけとすべきことを提言致しましたが、この際新年を迎えるにあ

たり特に大阪の中心をなして来た「大阪城」天正十三年（一五八五）構築して以来四〇〇年を経過し、この間幾多の兵火の災にあつたが、この際築城者である豊臣秀吉の偉業を偲んで「浪速の祭り」を府民の盛りあがる声として実現致したいものである。その所以とするところは、

これによって商都は物資の集散へと結びつき景気の浮揚の期せずして盛りあがりを見るものと思ふ。

この大阪城は贅言（ぜいげん）を待つまでもなく築城主豊臣秀吉の偉業を偲んで、その構図をあきらかに致したい。城の入口は巨石で目を奪い、本丸、大手

が、この際新年を迎えるにあ

たり特に大阪の中心をなして来た「大阪城」天正十三年（一五八五）構築して以来四〇〇年を経過し、この間幾多の兵火の災にあつたが、この際築城者である豊臣秀吉の偉業を偲んで「浪速の祭り」を府民の盛りあがる声として実現致したいものである。その所以とするところは、

この大阪城は贅言（ぜいげん）を待つまでもなく築城主豊臣秀吉の偉業を偲んで、その構図をあきらかに致したい。城の入口は巨石で目を奪い、本丸、大手

の桜門、二の丸、乾櫓（いぬいやぐら）この乾櫓は重要文化財であり、その手法は最も古い築城とされている。しかし豊臣秀吉以前の昔をたどってみると一〇五代後奈良天皇が本願寺証如上人が山城（山科）から石山（現在の馬場町）に本願寺本山としてここに置き城郭を構えた。この由緒から「大阪城」の呼称が生まれたものである。当時の面積は八町四方（一町は一〇九m）に及び雄大無双の称があった。後第十一世願如の時に至って（室町時代一五八〇年天正八年）織田信長の治めるところと





謹賀新年

財団法人 阪大微生物研究会

理事長 深井 孝之助

成年のご挨拶に、犬と医学について述べさせていただきます。ビーグル犬などの愛すべき犬たちが医薬の開発や癌の研究に役立って居ることはよくご承知のことでしょう。しかし、古代からの人類の忠実な友であった犬たちが発展途上国では人に致命的な病氣、狂犬病の伝達者であ

ることは先進国では忘れられがちです。実は私達がたずさわっている防疫用ワクチンの創始者であるパストゥールが開拓した、最も重要なものの一つが狂犬病ワクチンであり、彼の考え方は今なお多くの生ワクチンとして脈々と伝えられ、多くの子供達の幸福を支えて居ます。いま我

が国では多くの激しい伝染病は制圧され、ワクチンはより豊かな国民生活を保障する為に使われるようになって居るのですが、途上国ではまだまだそうではありません。世界保健機構（WHO）は、「紀元二〇〇〇年までに総ての人に健康を」を目標に、大予防疫種計画を推し進めてい

ます。現在の国際化の進んだ世界では、先進国の旗手である我が国は、こうした点から、全世界の人々の健康に無関心であるわけにはゆきません。殊に我國の世界への最大の門戸である大阪では、この事を忘れるわけにはゆきません。私たちの財団は、この大阪のもつ使命に従って、大阪府民の皆様にはもとより、広く世界の人々の健康のために奉仕したいと努力をつづける所存であります。そして大阪と世界を結ぶかけ橋の一つとなりたいと思っております。幸いにも昨年は「おたふくかぜワクチン」

「改良百日咳デフテリア破傷風三混ワクチン」を世に送ることができました。また一方ではブラジル政府とのワクチン生産の技術的協力を進めることができました。これもひとえに皆さま方の御支援のたまものと感謝して居ります。

新しい年を迎え、しっかりと自分達の足もとを見つめると同時に、世界にも眼を開き、益々研鑽を重ねて世の中のお役に立ちたいと当財団に職を奉ずるもの一同は決意を新たに居ります。今後の一層の御指導御鞭達をお願い申し上げます。



新春を迎えて

大阪府環境保健局長

保川 圭司

昭和五十七年の新春にあたり皆様方のご健勝を心からお祝い申しあげますとともに、平素の本市環境保健行政に対するご支援に深く感謝申しあげます。

今日、町並の美しさ、静けさ、

あるいは地域の個性の感じられる歴史的環境など、環境の豊か

さや精神的な充実感を求めた快適な環境に対する関心が高まっておりますが、これは人々が環境の潤いや落ち着きをとりもどそうとする意欲のあらわれであると考えられます。

環境政策は、このような快適な居住環境づくりへの新たな対

応を求められているわけでありますが、環境保健行政はこれら政策の一端を担う重要な立場にあります。

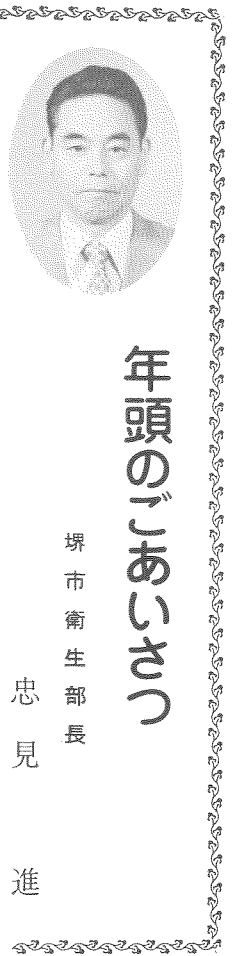
今後、私どもといたしましては皆様方の業務と深く関連する環境衛生対策をはじめ、保健医療対策、生活環境の改善など市

民の健康にかかわる諸施策をより強力に推しすすめていく一方住民の真の豊かさとは何かということをよく見きわめ、長期的展望に立った行政を展開していかなばならないと考えております。

皆様方の業界におかれましては、昨年は「建築物ねずみ駆除防除業」の知事登録が制度化され、本年から本格的に業務が開始されることと思われま

す。貴協会におかれましては、よりいっそう技術の研鑽、組織の充実が求められ、本年が貴協会





年頭の「あつこし」

堺市衛生部長

忠見 進

新年おめでとうございます。

昭和五十七年の新年を迎え皆様のご健勝を心からお祝い申し上げますとともに、旧年中は本市の衛生行政に多大の御尽力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて昨年来、依然として国民経済の低迷している中で行財政改革等に伴ない本市の行政を

りまく環境も一段ときびしい年になるように思われます。

市民の保健衛生需要は老令化社会を迎えつつあること、疾病構造の変化、生活環境様式の変化等と常に流動的でこれらの変化に十分な対応をはかることがこれらの堺市保健衛生に課せられた主要な使命と確信いたして

おります。

このような現況にあって、市民の健康増進の向上並びに衛生思想の普及をめざし、特に母子衛生の推進、循環器検診、各種ガン検診等、成人病予防対策、栄養指導事業および環境衛生面の充実を図ってまいり、他方、救急医療面におきましてもその

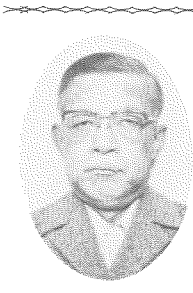
体制確立化をより一層積極的に取り組んでいく所存であります。

公衆衛生行政を推進するためには、市民や民間機関など各界の方々のご理解とご協力を得て効果的に目的を達成されるものと思っております。

とりわけ、貴協会におかれましては、市民の飲料水の安全を守るための一環として簡易専用水道施設維持管理の法定検査機関としてご協力いただいているほか、快適な生活環境保全向上のためねずみ、衛生害虫の駆除、伝染病の予防等々に積極的に推進されていることは本市として

も心強く感じると共に心より敬意を表します。

行政改革等にもございますようにより効果的な行政運営が要求される中で種々のご苦勞もあろうかと存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、貴協会の益々の御発展と理事長様始め職員各位の益々の御隆盛とご健康をお祈りいたしまして、新年のあいさつといたします。



精舎施

阪急電鉄株式会社

人事部長 一本松 康雄

新年おめでとうございます。

元日や神代のごも思はるる元日や鬼ひしぐ手も膝の上まことに新年は気持よい。こうした清潔な、キリッとした気分一年を送りたいものです。忙しい昨今では

正月や三日過れば人古し、さて新年が気持がよいのは、

周囲が綺麗に片付いているから

であります。仏の教えに、無財の七施と云って財産を寄付しなくてもできる善根がある。いつも人に気持よく挨拶するとか、温顔をもって人に接するとか当然のことであってしかも仲々続け難いことが列挙してあります

ようじゃせ」というのがあって

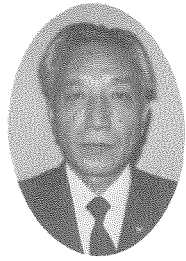
妙に心に残っています。これは自分の居宅、あるいは仕事場をクリーンにすることであって、それで人々の眼を楽しませる、また心をひき締める、そうした功德のある施行です。人間なかなか人の為になることは出来な

ていない。しかし、この精舎施

は、人が見ているとテレ臭いものでありますが、いつでもどこでも簡便にできるので、やり出すと面白いものです。紙屑一つ拾っても精舎施である。庭の雑草一本抜くのも功德である。いやこんな七面倒な理屈をつけなくても面白いものです。人間なかなか悟れませんが、ひとが見ていると意識する。駅などでは「誰も見ておらんや」と確かめてから散らばっている古新聞を拾ってそっと屑籠に捨てる。これが自分の家に帰ると誰も見ていないのでおっぴらにやり

始める。休日など、朝廷に出て

草抜きをはじめ夕陽の沈むまで草を抜いたり、落葉を掃いたり、ゴミを捨てたりしている。少々雨でも傘をさしてやることもあります。屋根の下は家内の領分なので余り色々々と紛議の種になるので、私の領域はもっぱら庭および門、塀、周辺の側溝のあたりに限定されています。西洋の諺に、「どんな自墮落な女でも、ひそかに一か所はびかびかに磨き上げている場所を持つているものだ」とあります。清潔の保持は、難行でなく、易行のように思われるのです。



心のふれ合いの場を

南海電気鉄道株式会社
運輸部長 淺原長伸

明けましておめでとうございます。駅頭に日章旗を掲げ、清掃、

打水をして初詣のお客さまをお迎えするのは、各駅での新年のならわしですが、こうした行まいに接するとき、すがすがしい気持ちと共に、お客さまの生命をお預かりして、輸送を通じて社会にささやかな貢献を果すこと

のできるありがたさを、しみじみと感ぜずにはおれません。「一年の計は元旦にあり」と

は古来言いふるされてきた言葉ですが、当社沿線には全国でも有数の住吉大社があり、毎年初詣の折社殿に詣りて、今年は去年よりも更に一層、安全輸送に徹してお客さまに気持ちよく乗っていただける、愛される鉄道

に育て上げて行かねばならないと心から祈らずにはおれません。私はかねがね、駅は家にと

えればお客さまをお迎えする玄関口であり、車内はお客さまをお通しする座敷であると考えておりますが、明るい清潔な環境づくりが、お客さまに気持ちよく鉄道をご利用いただける大切な要件であると思えます。

こうした心遣いと、「ありがとうございます」の感謝のことが、お客さまと鉄道とを結ぶ太い絆となり、心のふれ合いが生まれてまいります。

駅設備の自動化によって係員と接する機会が失われつつあると、お客さまからよく聞かれます。

当社においても、健全経営を図るための手段として、昭和五十年以来券売機や自動改札機の導入により、省力化と取り組んで参っておりますが、お客さまのご不満を解消し、さわやかな雰囲気のある玄関口とするための環境づくりに、日々努力いた

しております。積極的な案内と感謝のことは、そして明るい清潔な環境、この三拍子が揃ったとき、お客さまと鉄道とのあたたかい心のふれ合いが生まれることと確信しております。

日夜駅の清掃にご努力いただいている関係の皆さま方に厚くお礼申し上げます。お客さまにより一層愛される鉄道にするため、心のふれ合いの場を一致協力して育て上げて行くよう努めて参りたいと願っています。毎日でございます。



見えない相手

関西テレビ放送株式会社
総務部長 松本幹男

新年おめでとうございます。

新しい年の始めに放送界は毎年放送の多様化が話題となり、昨年実用化試験局の免許が許可になった音声多重放送の補完的利用に続いて文字放送・静止画放送・ファクシミリ放送・放送衛星と新しい媒体の開発・利用

が賑やかに論じられます。

一方、現在のテレビ放送機能をより充実させる対策として、災害時に於ける放送の確保の問題があります。

放送局の災害対策としては、地震対策・風水害対策・防火対策等があります。

災害が発生すれば一番に災害に関する情報をより多くの人々に迅速正確に報道することがテレビ局に課せられた使命であり、如何なる非常事態に対しても放送電波を出すこと、それには

放送設備の確保が必要であり、その根幹をなすものとして電力

の供給確保があります。当社では常に関西電力より、別々の二つのルートより電力の供給を受ける特高受電設備を備えておりますが、その二ルートから送電不能の場合はただちに自家発電装置が稼働します。ただ発電機も油がなくては運転出来ません。

そのため地下には発電機用の油タンク以外に数日間連続運転可能な予備の燃料タンクを準備しております。しかし、それとても発電機が水冷式のため冷却水がなければ何日も連続運転が不可能です。そのため、大阪市に

非常用井戸を掘らしていただくよう申請し関係当局のご理解を得て、昨年許可を得て、現在試験準備中です。更に、最少必要限の放送を確保するためのバックアップ体勢として空冷式の発電機を今春完成させるべく計画中であります。

又、変電設備も対震用のキュービクルタイプに更新、上からの水漏れ、下からの浸水にも万全の対策を講じております。地震・台風・洪水は大阪地区に何時！明日にもこれまでに体験したことのない規模で襲いか

かって来るかもわかりません。

我々テレビ放送関係者は日夜

「見えない相手」に対して、立

ち向って奮戦しております。

電力の他に局舎の防災対策、

災害時の取材体制、中継車の出

動体制、放送機器の整備、送信

設備の確保等「見えない相手」

に膨大な費用と労力をかけて対

策に邁進致しておりますと同時に

に、この設備を使用するような

事態が発生することのないよう

切望すると共に、どうか本年も

平穏無事であるよう祈っております。

ます。